

6 健康なくらしとまちづくり

1. ごみはどこへ



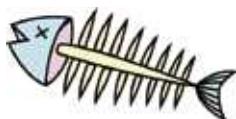
家庭科の調理実習は、みんな楽しみにしているよ！



でも、実習が終わった後、野菜くずやトレーなどのごみはどうやってすてているのかしら？



学校や家からどんなごみが出ているか調べてみましょう。



こんなにたくさんのごみが・・・

学校では、毎日たくさんのごみが出ます。紙くずが一番多く出ますが、工作などの学習のあとには木くずや空きかん・ペットボトルなどもごみとして出ます。

先生のお話では、ほかにもこわれた学用品・野菜くず・空きびん・けい光かん・トレー・だんボールなどたくさんの中類のごみが出るそうです。

そこで、わたしたちのごみをまとめてしまつしてくれている用務員のおじさんにお話をうかがいました。



学校にあるいろいろなごみをしまつするところ

よう む いん 用務員のおじさんのお話

少し前までは、もやせるごみは学校のしょうきやくろでもやしていました。でも、体によくないダイオキシンとよばれるものが出るので、学校でもやすのはやめました。

みなさんの教室などから出るごみは、「もやせるごみ」「もやせないごみ」「大型ゴミ」などに分けて、ごみ収集車がもっていってくれます。

また、だんボールや新聞紙などは、リサイクルに出します。



わたしたちは、しゅうしゅうしゃ 収集車で集められたごみが、どこへ行って、どのようになるのか、調べてみたくなりました。



身の周りのごみは、どのように集められ、しょりされているのか調べてみましょう。

ごみは、どこへ行くの？

わたしたちは、ごみのゆくえを調べるために、学校の近くにあるごみステーションへ行ってみました。すると、ちょうどごみ収集車がきていて、ごみを集めているところでした。



ごみステーション



ごみ収集車

収集する人は、次々とごみを収集車につみこんでいて、とてもいそがしそうにはたらいています。そこで、少しだけお話をうかがいました。

収集する人のお話



ごみはもやせるごみともやせないごみに分別して、決められた曜日の朝8時までにごみステーションに出す決まりになっています。また、ごみを出すときは、市で指定したごみぶくろに入れてもらったり、シールをはってもらったりしています。

でも、ごみをきちんと分別していないくて、集められないこともあります。もやせるごみの中にスプレー缶などがまじっていて、収集車の中で火災が発生したことありましたよ。

つぎに、わたしたちは、西いぶり広域連合の担当の方をたずねて、ごみしょりのしかたについて、お話をうかがいました。



こういきれんごう 西いぶり広域連合の担当の方のお話

西いぶりの5つの市町（室蘭市、伊達市、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町）^{とうら}がいっしょになった西いぶり広域連合が、ごみをもやすしそうせつ施設の「メルトタワー21」と資源となるものを処理する「リサイクルプラザ」を平成15年に石川町にたてました。

ごみは、「メルトタワー21」で、もやせるごみともやせないごみに分けて処理しています。もやしたあとの灰は、道路をほうすることなどに再利用しています。再利用できない灰は、神代町の「うめたて地」に運ばれます。

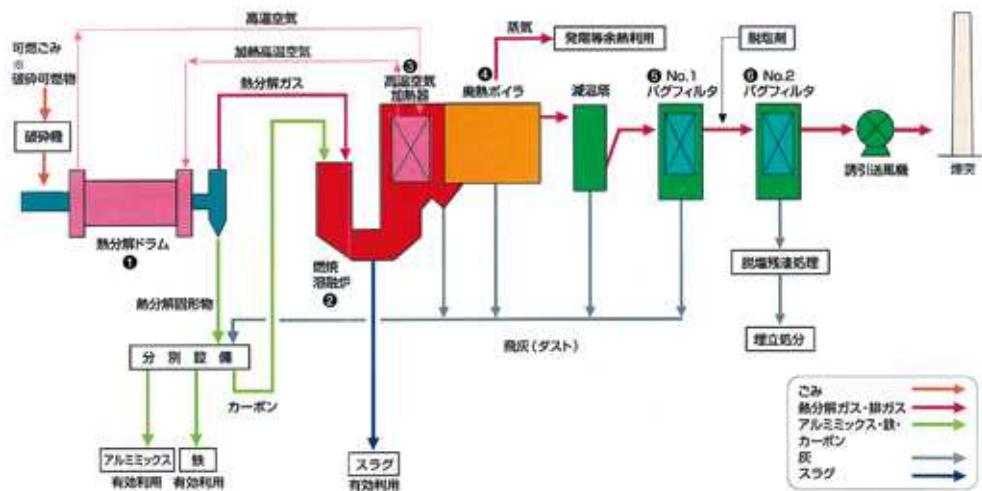
資源となる空き缶や雑びん（使い捨てびん）、ペットボトルは、「リサイクルプラザ」で選別、圧縮処理をしたあと、専門の工場でリサイクルされます。

また、ごみをもやす時に出る熱を使って発電をしたり、「げんき館ペトトル」の温水プール、体育館の暖房に使ったりしています。



メルトタワー21

ねつぶんかいねんしょようゆうせつび
熱分解燃焼溶融設備フロー



メルトタワー21での燃やせるゴミ処理の仕組み

ごみをへらすために

リサイクル担当の方は、リサイクルをすすめ、ごみをへらすことは、地球温暖化の原因となっている二酸化炭素をへらすことにもなるので、資源として再利用することはとても大切なことだと話していました。そのため、西いぶり広域連合では、リサイクルも行っているそうです。そこで、リサイクルについても調べてみました。

○空きカン

○雑びん(使い捨てびん)

○ペットボトル

○プラスチック製容器包装

- ・ペットボトルなどのプラスチック製のキャップ
- ・お菓子などのふくろ
- ・洗ざいやシャンプーなどの容器
- ・卵や豆ふなどのケース



室蘭市でリサイクルしている資源ゴミ

プラスチック製容器包装のリサイクル
せいようきほうそう
は、西いぶりのなかで、室蘭市のみで取
り組んでいます。

わたしたちも、身近なところで、できるだけごみを出さないような取り組みをしているところを調べてみました。



かいしゅうばこ
スーパーのトレイの回収箱



ぶんべつ
コンビニの分別ボックス

このように、地いきでもごみをへらすために、さまざまなことに取り組んでいることがわかりました。わたしたちも何かできることがないか、考えてみたいと思いました。



環境リサイクルマーク



エコマーク



パックマーク



アールマーク

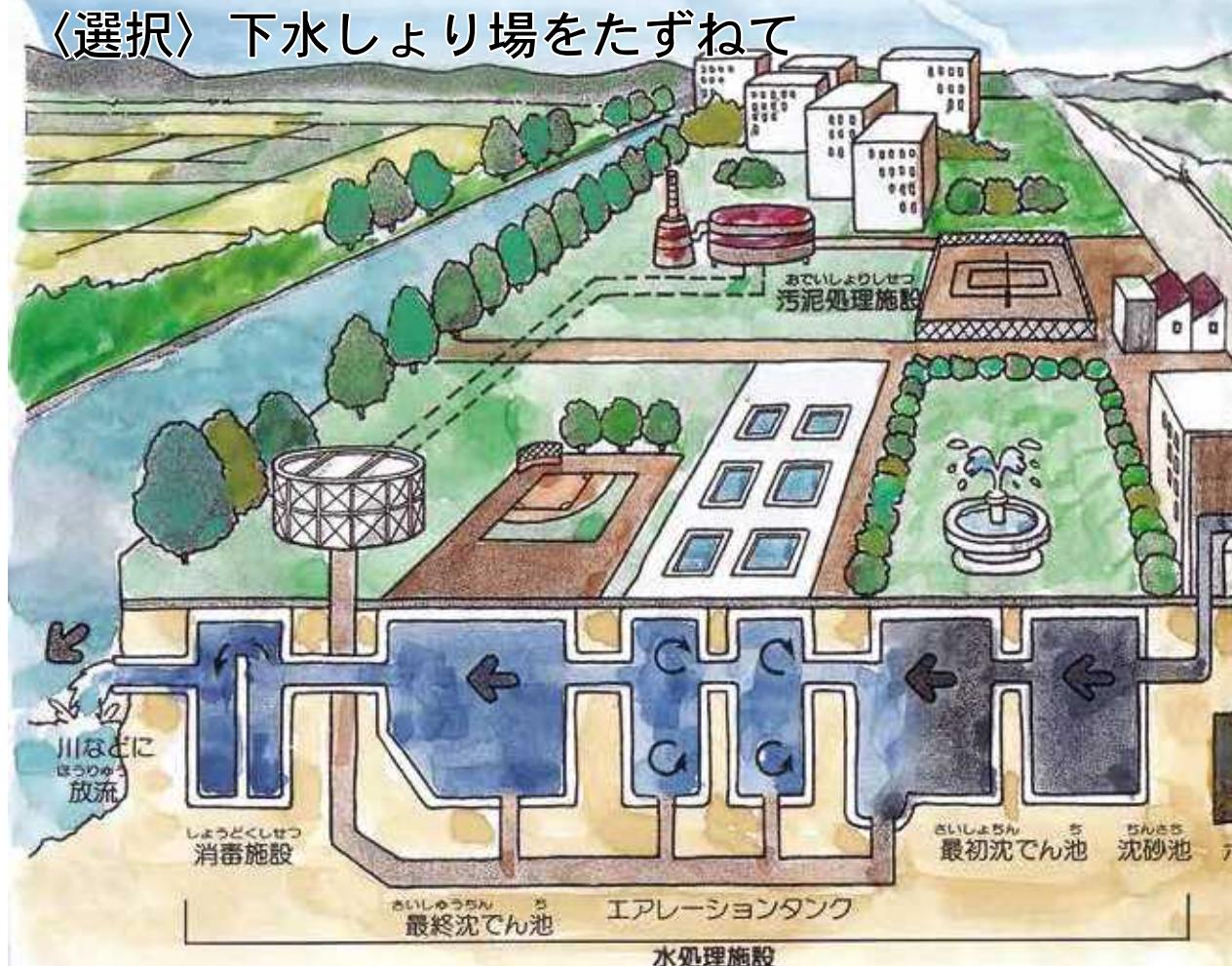


どんな意味があるのか
調べてみたいな。



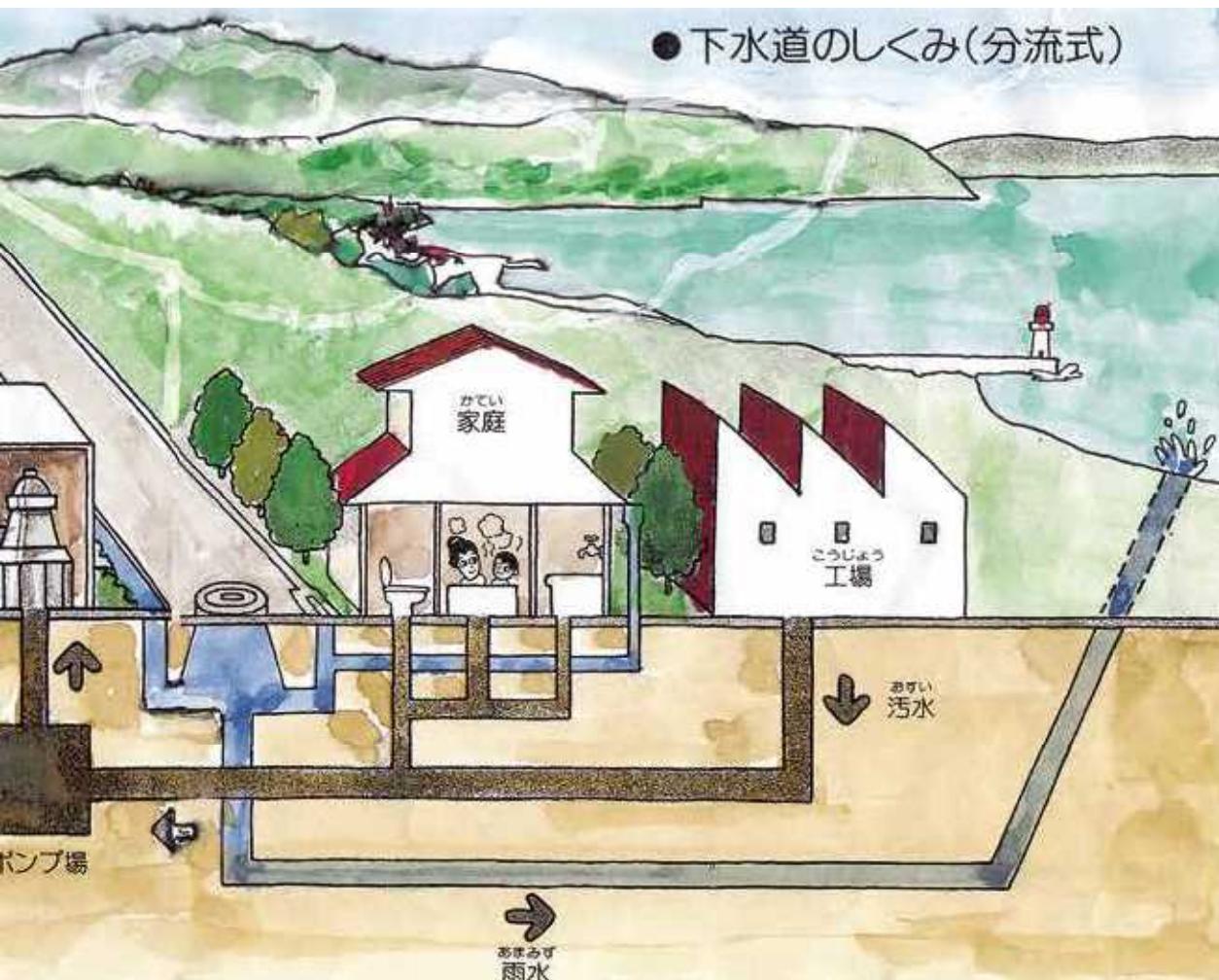
いろいろなマークが
あるね。もっとあり
そうだね。

〈選択〉 下水しょり場をたずねて



- わたしたちは、使った水のゆくえが気になり、よごれた水をきれいにする下水しょり場についても調べてみようと思いました。
- 下水しょり場の中を見学したり、係の人のお話を聞いたりしてみることにしました。
- そこでは、家庭などで使われた水が下水管を通って集められ、下水しょり場できれいにされて、検査や消毒をしたあと川や海に流されています。海に流れこんだ水は、蒸発して雨雲となり、雨となって、

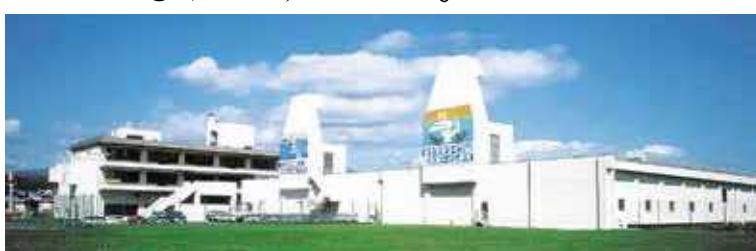
●下水道のしくみ(分流式)



また、わたしたちの使う水のもととなります。水は、まわっているんだなと思いました。

また、下水道が整備されると、よごれた水が川や海にながれこまないのでまちが清潔になるばかりでなく、雨水も下水道に流れこむため水害などもすくなくなることもわかりました。

● 下水道の仕組み



2. 水はどこから



みんなが 1日に
使う水の量はどれ
くらいだと思いま
すか？



手をあらうほかに、どん
なことに水を使っている
かな。

きゅうしょく
給食の前には、みんなが手を
あらっているね。



そうじ、トイレ、花だんの水やり…。
家では、せんたくやおふろ、しようき食器あら
いなどにも使っているよ。



いったいどのくらいの水を使っ
ているのだろうね。

- ひろみ君たちは、自分たちの家ではど
- んなことに水を使っているのか、知りた
- くなりました。そこで、休みの日に、み
- んなで調べてみました。

「家では思っていたよりもいろいろなことに水を使っていることがわかったよ。」

「おふろやせんたくには、たくさんの中を使っていたわ。」

「ほんとうだね。水せんトイレも使う量が多いらしいよ」

家庭での水の主な使われ方と使用量のめやす



炊事



せんたく



トイレ



お風呂

- ・せんたく110リットル（全自動せんたく機1回分）
- ・おふろ180リットル（家庭用）
- ・トイレ20リットル（水せん1回）
- ・食器あらい20リットル
- ・ご飯たき8リットル（米4合）
- ・歯みがき0.6リットル（コップ3ぱい）

「水は、わたしたちの暮らしになくてはならないものだね。」

「じゃ口をひねると水が出てくることを当たり前にのように思っていたけれど、いったい、水はどこからくるのだろう」

「学校でも、どんなことにどれだけの、水を使っているのか、もう少し調べてみたいね。」

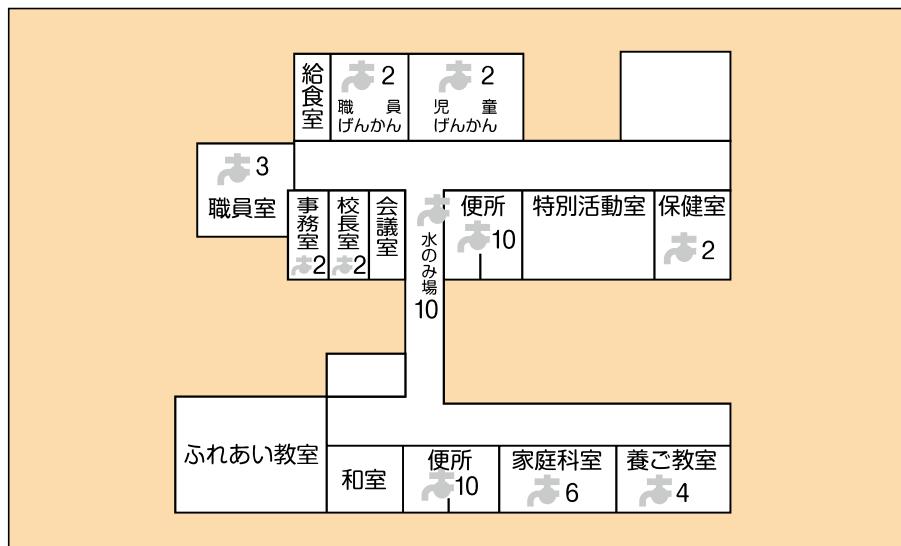
学校では、どんなことに水を使っているのでしょうか。じゃ口がある場所を調べて、考えてみましょう。

こんな所にもじゃ口が

ここは、私たちの学校です。4年1組では、学校のじゃ口がどこにあり、どんなことに水を使っているのか、調べてみることにしました。

みんなで分たんして、じゃ口のある場所を調べ、学校の見取り図に書きこんでいきました。

すると、学校には多くのじゃ口があり、飲み水、手あらい、そうじ、植物の世話などに多くの水を使っていることがわかりました。



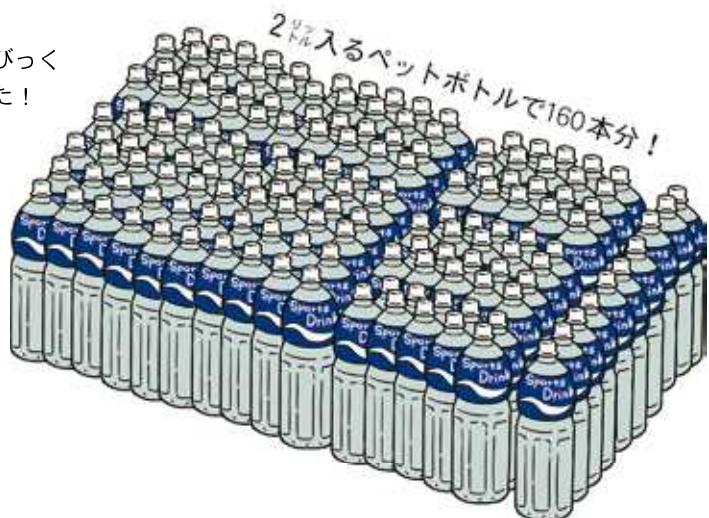
学校のじゃ口調べをまとめた図

学校では、家よりももっとたくさんの水を使っていることはまちがいないでしょう。

室蘭市全体では、大変な量の水を使っているにちがいありません。



すごい量でびっくりしちゃった！



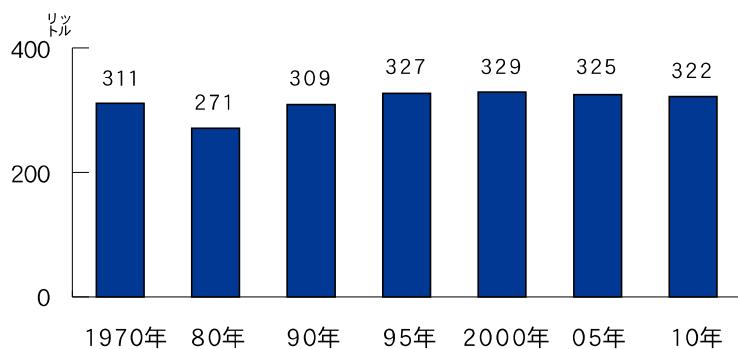
一人が1日に使う水の量

320リットルって、どのくらい？

学校や家など、市全体で使う水の量を調べてみると、1人1日あたり320リットルもの水を使っています。1人1日あたりの水の使用量を、2リットル入るペットボトルにおきかえてみると、160本分になります。

私たちは、このたくさんの水がどこからきているのか、予想してみました。

室蘭市全体の1人あたりの水の使用量





水はどのような道を通って、わたしたちのところに送られてくるのでしょうか

水が通る道

まいにち　たいりょう

毎日使う大量の水は、どこから、どのようにして、わたしたちの学校や家に送られてくるのか調べてみました。

室蘭市で使っている水は、それぞれの水源からチマイベツ浄水場や千歳浄水場に送られ、きれいにされます。そこから、配水池に送られ、水管を通して、私



たちのもとにとどきます。室蘭市には大きな川がないため、となりの登別市の川にも市の浄水場をつくり、そこから水を引いています。

私たちは、浄水場のはたらきについても、調べてみることにしました。

水源
給水区域

水道をたどってい
くと

じゃ口
↓
水道管
↓
浄水場



チマイベツ浄水場

浄水場は、どのようなはたらきをしているのか、調べましょう。

水をつくる工場

わたしたちは、チマイベツ浄水場をたずねて、そのはたらきについて調べてみることにしました。

浄水場の建物の中には、大きなお風呂のような水をためているところや、たくさんのおかかい機械があります。また、外にも、プールをしきったような池や、いろいろなしせつがありました。



フロック形成池

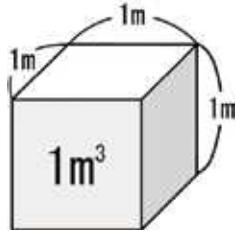


ろ過池

「私たちは、なぜこのようなものが必要なのか、浄水場の係の人に聞いてみました。」

係の人は「川から取り入れた水には、目には見えないよごれもたくさんまざっていて、そのままでは飲めません。ここできれいにして、みんなが安心して飲める水をつくっているんです。そのために、お金と人手もたいへんかかります。」と話してくださいました。

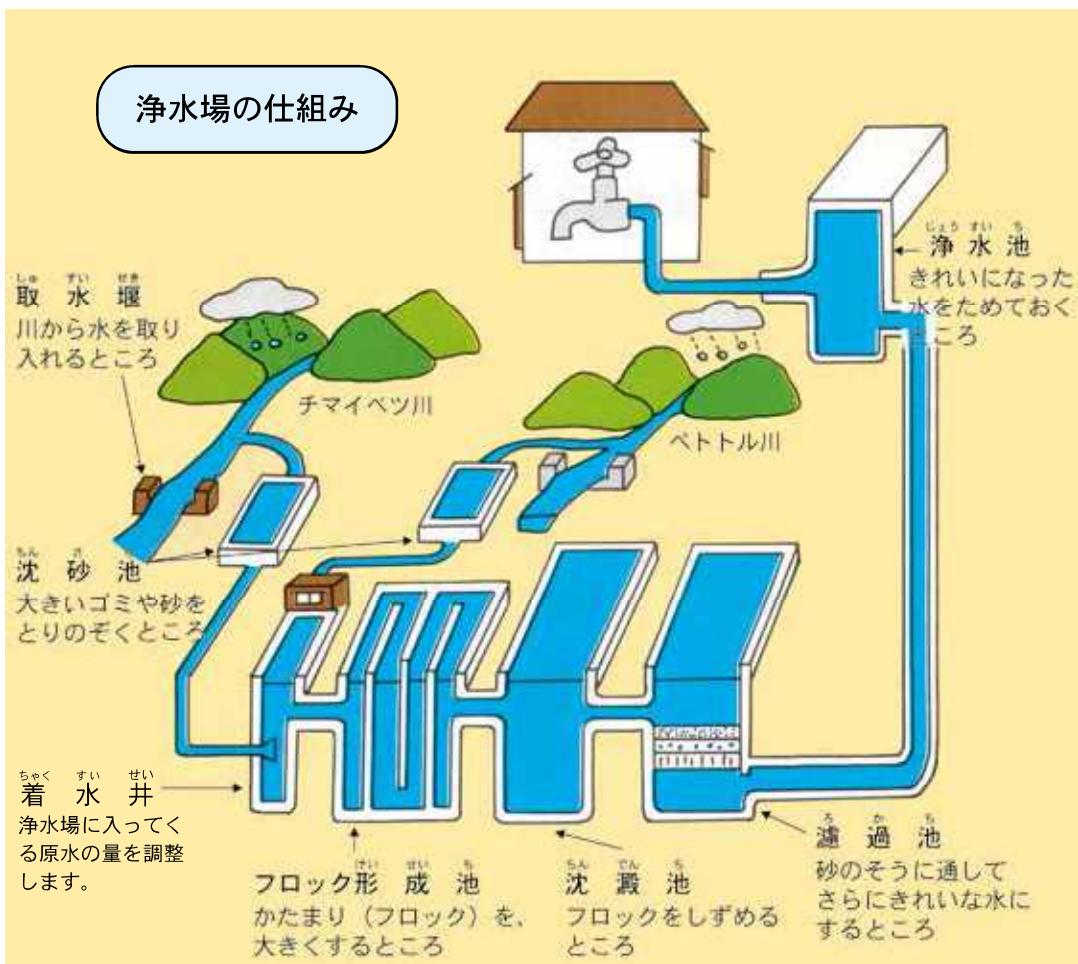
わたしたちは、浄水場は、まるで「水をつくる工場」のようだと思いました。



1立方メートルの水道水を作るのにおおよそ150円かかります。



中央管理室





チマイベツ川の水源



水源の上流のようす

森林はどのように
なはたらきをして
いるのでしょうか。

水のふるさとをたずねて

わたしらちは、水の源のようすを調べるために、室蘭岳に登りました。ヒュッテを少し登ると、とりいが見えます。そこをくぐっていくと、切りかぶの下から水がわきでていました。先生は、「このような小さな流れが集まり、川ができます。雨がふらなくても、水がわきでていますね。」と話してくださいました。

頂上に立ってみると、目の前に大きな森林が広がっています。先生は、「この大きな森林が“緑のダム”とよばれている『水源かんよう林』です。」と教えてくださいました。

それは、森林が、雪だけ水や雨水をたくわえるはたらきをしているからです。たくわえられた水は、わき水として、少しづつ地表にあらわれ、沢にそって流れだし、やがてそれらが集まって川となります。

安全な水のかくほ

今、市の水道は、およそ9万人の市民に使われていますが、水の量は十分にかくほされています。けれども、地震などの災害に備えて、飲み水をたくわえておくことのできる「きんきゅう貯水そう」が、市内のあるところにもうけらています。

また最近は、環境の悪化により、水がよごされることがだんだんと多くなってきました。

これからは、安全できれいな水を確保するためにも、大切な水源がよごされることのないよう、一人一人が気をつけていかなければなりません。

これからの水道について考えましょう。



水質試験場



きんきゅう貯水そう

市内の公園のあまり目立たない場所に、きんきゅう貯水そうというしせつがあります。貯水そうには、50立方メートルの水が入っており、災害のときなどには、1人1日に3リットルの水を給水することができます。

